【　商業・事務情報　科】　３年次　【選択】科目「現代文教養」授業のシラバス

１　概要

教科名	国語	科目名	現代文教養	単位数（コマ数）	３単位（105 コマ）
科目の目標	現代文Ａ及び国語教養で学習した内容を踏まえて、近代以降の文章を中心に据え、様々な文章を読解する。加えて、社会生活に活きる文章力を身につけ、思考力を養う。				
教科書(出版社)				副教材(出版社)	現代文読本　小説・随想編①（いいずな書房） 楽しく書ける作文・小論文基本編「六〇〇字で書こう」改訂版（桐原書店）

２　学習の方法

⑴　予習について

作文の課題が出たときには、構成メモなどを作成して、どのような文章を書くか考えておくようにしましょう。また、作文に加えて読解問題にも取り組みます。授業の範囲の文章は、事前に読んでおきましょう。内容が事前に頭に入っているかいないかでは、授業の理解度はまったく変わってきます。積極的に授業に臨む姿勢が重要です。

⑵　授業について

前期は主に、随想の読解と作文練習を行います。作文を書く前に、効果的な表現方法や、自身の考えを表現する文章について、随想を題材として考えていきます。それを踏まえて、様々なテーマで作文を練習し、社会に出る際に必要な文章力を身につけていきます。

後期は主に、小説の読解を行います。小説を読むことを通して、語彙を増やします。加えて、小説の論理的な読み方を学び、社会において必要な、思考力を高める練習をします。

⑶　復習について

授業で書いた文章は、きちんと手元に保存して、後で見返しできるようにしておきましょう。自分の書いた文章を何度も見直し、よりよいものに仕上げていくことが、文章の上達においては大事です。

授業で随想や小説を読んだ後は、もう一度内容を整理しておきましょう。また、テスト前には本文をもう一度読み直して、意味の分からない語句があれば、自分で調べるなどして理解を深めましょう。

いずれにしても、国語力は一日で身につくものではありません。少しずつでも良いので地道に復習していきましょう。

〈学習アドバイス〉

国語の力は日常生活で養って行くことが大切です。読書をしたり、新聞を読んだり、映画やテレビドラマなどを視聴したりしながら、語彙力と表現力を豊かにしていきましょう。教科書だけを読んでいても国語の力は身につきません。言葉の意味を意識しながら、様々な文章を読んだり、ものを見たり聞いたりすることが大切です。今自分の使っている言葉が、しっかりと相手に伝わっているのかを意識してみましょう。また、相手の言っていることがしっかりと理解できているかを確かめましょう。国語の力は日常の生活の向上のためにあると思います。意識的な「学び」を心掛けてみてはどうでしょうか。

３　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣旨
①　関心・意欲・態度	国語で適切に表現し、伝え合う方法を身に付け、国語を充実させようとする。（授業に積極的に臨むことや、課題に真面目に取り組むことなどが評価されます。）
②　読む能力	近代以降の文章を中心に、様々な文章に触れ、優れた表現や構成を読み取り、ものの見方や考え方を豊かにする。（文章の内容を正確に理解する能力や、登場人物の心情などを読解する能力が評価されます。）
③　書く能力	自分の考えをまとめて、筋道を立てて、状況に応じた適切な文章を書く方法を身に付けることができる。（与えられた課題に適切に対応した文章が書けること、論理的に構成して文章を書く能力が評価されます。）
④　知識・理解	表現と理解に役立てるための基礎的知識を身に付ける。（基礎的な漢字の読み書き、敬語の基本、日本語の文法をきちんと理解しているかなどが評価されます。）

⑵　評価の方法（以下観点①～④は「⑴　評価の観点」と対応する）

評価材料 / 観　点	割合	定期考査・確認テスト 実力テスト		小テスト	プリントワーク	発問	課題作文	グループワーク
①　関心・意欲・態度	１０％	△	単元で扱った内容が、日常での生活で活かされたり、関係したりした場面や経験を問う問題。	◎	◎	◎		○
②　読む能力	３０％	◎	単元の内容が正しく理解されているかどうかを問う読解問題。		○	○		○
③　書く能力	３０％	○	単元で扱った語彙を用いて文章を作成する短文作成問題。		○		◎	○
④　知識・理解	３０％	◎	単元で扱った国語の基礎的知識や理解力を問う漢字の書き取り、読み、意味を問う問題。	◎		○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

評価は日常の学習の取組がどのくらいできているかを判断します。提出物は日頃からしっかりと準備しておけば全員ができることです。そのような誰もができることをしっかりとできているかが評価の基本となりますので、日々の学習の取組をしっかりとしましょう。今やれることは今やる。決して後回しにしない気持ちをもって学習に取り組んでください。

【　商業・事務情報　科】　３年次　【選択】科目「現代文教養」授業のシラバス

４　授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考査等
前期 4	1　随想とは何か	9	・評論と小説の中間に位置する文章を理解する。 ・評論風の作品を読むことで、余韻の大切さを知る。	② ② ①	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、筆者の思考と主張を理解できる。 ・筆者の論の展開と主張を理解できる。 ・文章を読むことに積極的に親しむことができる。	
5		12				
6 7	2　作文の書き方① ・原稿用紙に慣れよう ・「話し言葉」を直そう ・箇条書き発想法 ・段落分けをしよう ・序論・本論・結論 ・六〇〇字で書こう	12 12	・原稿用紙のルール ・作文・小論文にふさわしい表現 ・箇条書き発想法 ・序論の書き方 ・本論の書き方 ・結論の書き方	① ④ ③	・意欲的に授業に参加し、作文への関心を高めることができる。 ・原稿用紙の使い方を理解することができる。 ・テーマに則した作文を書くことができる。	前期中間考査 ノート提出
8	3　作文の書き方② ・作文演習	6	・様々なテーマで作文作成 ・推敲の方法	③ ③ ①	・テーマに即した作文を書くことができる。 ・分かりやすく、適切な構成の文章を書くことができる。 ・作文を発表し、適切な相互評価ができる。	課題作文提出
9	4　小説に親しむ	12	・小説を読解する基本を学ぶ	④ ② ①	・物語中に用いられる語句の意味を理解することができる。 ・物語の展開に即して登場人物の心情の変化を正確に読み取ることができる。 ・文明のあり方について自分なりに考えることができる。	前期期末考査 ノート提出
後期 10	5　心理を追う	15	・極限状況という環境に身を置いた人間の心理を考える	② ②	・作品に描かれた人物像や情景等を表現に即して正確に読み取ることができる。 ・作品に込められた心情を理解するために、表現を手がかりにすることができる。	
11	6　表現を味わう	15	・生と死という抽象的な概念について考える。 ・私小説の基本を学ぶ	② ②	・物語の展開に即して筆者のものの見方や考え方を正確に読み取ることができる。 ・抽象的な思考について、論理展開をたどって的確に読み取ることができる。	後期中間考査 ノート提出
12	7　一年間のまとめ	9	・作文のおさらい ・国語常識のおさらい	① ③ ④	・授業に積極的に参加し、自身の関心を深めることができる。 ・テーマに合わせて、文章を書くことができる。 ・基礎的な漢字の読み書きができ、語句の意味が理解できる。	
1		3				
2		計 105				
3						

※　観点別評価①は関心・意欲・態度、②は読む能力、③は書く能力、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。